

まべちだよい

令和5年
3月
Vol.129



今号の話題

- ✿ 洪水キキクルと水害リスクラインを一体化しました。
- ✿ 水門等水位観測員講習会を開催しました。

洪水キキクルと水害リスクラインを一体化しました

これまで気象庁では、中小河川の洪水危険度を伝える「洪水警報の危険度分布」(洪水キキクル)を平成29年(2017年)度から、一方で、国土交通省では、国管理河川についてきめ細かな越水・溢水リスクを伝える「国管理河川の洪水の危険度分布」(水害リスクライン)を令和2年(2020年)度から運用し、それぞれのホームページから提供してきました。

地域の洪水の危険度を一目で確認できるよう、これまで別々に提供してきた「洪水キキクル」と「水害リスクライン」の一体的表示を、令和5年2月16日(木)から気象庁ホームページ上で開始しました。これにより、地方自治体や住民の皆様が、それぞれの場所における詳細なリスク情報をワンストップで確認可能になることから、適切な避難の判断に役立つことが期待されます。

なお、水害リスクラインのページでは、これまで提供していた現時点の危険度に加え、6時間先までの1時間ごとの危険度などの閲覧も可能となります。

「国管理河川の洪水の危険度分布※」
(水害リスクライン)

※大河川のきめ細かな越水・溢水の危険度を伝える

「洪水警報の危険度分布※」
(洪水キキクル)

※中小河川の洪水危険度を伝える

国管理河川の詳細な予測情報は水害リスクラインで提供。



統合表示

2020年7月4日04時20分

※危険度はイメージ



それぞれの詳細なリスク情報を
洪水キキクルページ(気象庁HP)
でワンストップで確認可能に

洪水キキクルはこちらから→→→ <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood>



水門等水位観測員講習会を開催しました

令和5年3月8日(水)、八戸市津波防災センターにおいて、馬淵川水系水門等水位観測員講習会を開催し、観測員23名が参加しました。

八戸出張所が管理する馬淵川(河口～櫛引橋の10km)には、洪水対策のための樋門・樋管を20箇所設置しています。毎月の点検や大雨や台風等の増水時の水位観測・ゲート操作は地元の方々が「水門等水位観測員」として行っています。

この講習会では、施設点検、施設操作、情報伝達手順などの確認を行い、水位観測員業務について再確認を行いました。

講習会の様子



観測員のみなさんは、日頃から気象情報に注意し、出水時は荒天も夜間も関係なく出動しています。
こうした地道な努力により、地域の安全安心が確保されています。

♪もうすぐ春です♪

1月から2月にかけて度々寒波が襲った八戸にも、ようやく春の兆しが。雪解け後の馬淵川堤防に緑が見え始め、その隙間からかわいらしい草花が顔を出しています。天気の良い日は散歩などで、春をみつけに行くのもオススメです。

オオイヌノフグリ
花言葉…「忠実」
「信頼」
小さな青い瞳が
覗いているように
見えることから、
別名「星の瞳」と
言われています。



コハコベ
花言葉…「ランデブー」
「愛らしい」
ランデブーとは、フランス語由来の言葉で「待ち合わせ、集合する」といった意味があります。この花言葉はハコベを餌とするひよこが集まることに由来するそうです。

